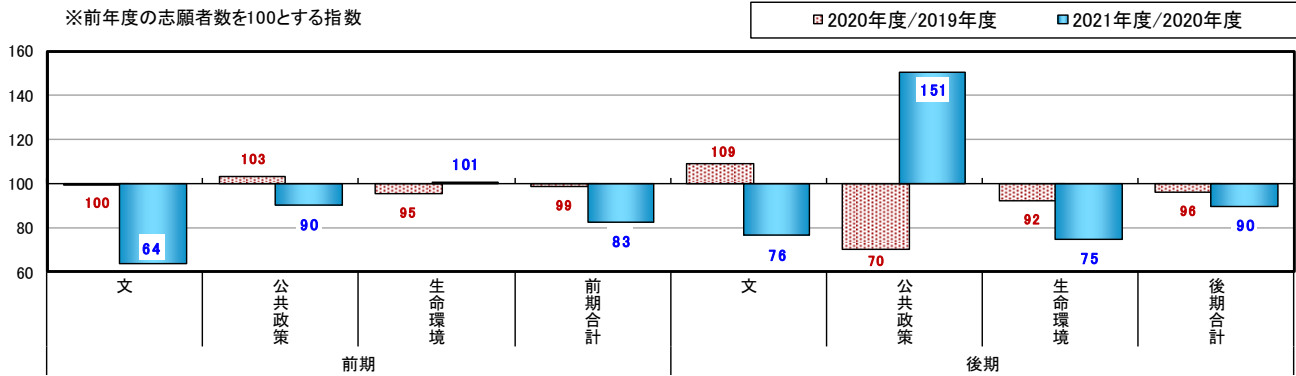


# 2021 年度入試状況分析【国公立大】

京都府立大：前期、後期、ともに2年連続減少

前期：-177人 後期：-67人



## 入試変更点

調査書：全学部<前><後>…特に利用なし→調査書を点数化して加点  
 募集人員：文(日本・中学文)…<前>20人→19人  
 (欧米言語文化)…<前>18人→14人、<後>4人→5人  
 (歴史)…<後>7人→5人  
 (和食文化)…<前>16人→15人  
 公共政策(公共政策)…<後>8人→7人  
 (福祉社会)…<後>8人→7人  
 生命環境(環境デザイン)…<前>25人→30人、<後>5人→0人 ※後期日程廃止  
 (環境・情報科学)…<前>20人→19人  
 (森林科学)…<後>6人→5人  
 (生命分子化学)…<後>5人→3人  
 共通テスト：文(日本・中国文、欧米言語文化、歴史)<前>…国+歴公+外→国+歴公+数+外+(理 or 理基2)  
 (和食文化)<後>…国+歴公+数+理+外 ※理：化 or 生  
 →国+歴公+数+理+外 ※理：物 or 化 or 生 or 地学  
 個別試験：生命環境(森林科学)<前>…数+理2+外→数+理2

## COMMENT ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は177人(83)の大幅減少、後期は67人(90)の減少で、ともに2年連続減少。

### <前期日程>

- 文(64)は、共通テストで数学と理科が追加になったことが敬遠され、大幅減少。学科別では、(歴史)(61)、(日本・中国文学)(61)が、3年連続増加の反動もあり大幅減少。(欧米言語文化)(69)は、募集人員を18人から14人に減らしたことも影響し、2年連続大幅減少。開設3年目の(和食文化)(72)は、前年度大幅増加の反動もあり大幅減少。
- 公共政策(90)は、2年ぶりに減少。学科別では、(公共政策)(114)は2年連続増加。(福祉社会)(65)は大幅減少で、4年連続増加なし。
- 生命環境(101)は、3年連続減少の反動はなく、前年度並。学科別では、(環境デザイン)(137)は前年度減少の反動と募集人員の25人から30人への増員(募集人員前年度対比指数120)の影響があって大幅増加。(農学生命科学)(123)は3年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(生命分子化学)(61)、(森林科学)(72)はいずれも前年度大幅増加の反動で大幅減少。(森林科学)は個別試験の科目負担の軽減の影響は見られなかった。

### <後期日程>

- 文(76)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(欧米言語文化)(108)が唯一前年度大幅減少の反動で増加したが、募集人員増員により志願倍率は29.5倍→25.6倍にダウンし競争は緩和。他の3学科はいずれも大幅減少。(和食文化)(58)は激減で、志願倍率も3.8倍→2.2倍にダウン。(日本・中国文学)(64)は3年連続大幅増加の反動で大幅減少。(歴史)(65)は2年連続大幅増加の反動により大幅減少、募集人員減員にもかかわらず、志願倍率は23.1倍→21.0倍にダウン。
- 公共政策(151)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加、2010年度から前年度の反動による増減が継続。学科別では、(公共政策)(163)、(福祉社会)(128)のいずれも大幅増加。
- 生命環境(75)は、今年度から(環境デザイン)の後期募集を廃止したから、4年連続減少。ただし、存続する3学科での比較では(122)で2年連続大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(生命分子化学)(158)、(農学生命科学)(143)が前年度大幅減少の反動で大幅増加。一方、(森林科学)(74)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。